

ifaa連続対談シリーズ 渴望の建築 第4回

「雲とグリッド」

松浦寿夫 x 林道郎 x 藤井博巳 x 戸田穰

2021年3月27日 (土)
16:00~18:00

ZOOMにて開催 (ZOOMアプリをインストールし、事前登録の上、ご視聴ください)
https://zoom.us/webinar/register/WN_in21QnvOTfKqRaJph8Thow



建築や美術といった分野を越えて見出される、作品表現や概念について、講演と座談会を行います。テーマを「雲とグリッド」とし、パネリストの先生方に議論して頂きます。

登壇者：松浦寿夫 x 林道郎 x 藤井博巳
司会：戸田穰
コーディネーター：藤井由理

主催：建築と美術研究会ifaa、藤井由理 (早稲田大学創造理工学部建築学科)
参加費：無料 (人数制限無し)、上記 Zoom URLにて事前登録制
問合せ：早稲田大学創造理工学部建築学科 藤井由理
yurifujii@aoni.waseda.jp

プログラム：

16:00 - 16:05 趣旨説明 藤井由理
16:05 - 16:50 イントロダクション/各15分
松浦寿夫 林道郎 藤井博巳

16:50 - 17:00 休憩

17:00 - 18:00 座談会

司会：戸田穰

登壇者：松浦寿夫 林道郎 藤井博巳

松浦寿夫 Hisao MATSUURA

1954年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学。武蔵野美術大学教授。画家、批評家。
編著として「シュポール/シュルファス」(水声社、1984年)、
共著として「モダニズムのハード・コア：現代美術批評の地帯」(太田出版、1995年)、
「モデルニテ3×3」(思潮社、1998年)、「絵画の準備を！」(朝日出版社、2005年)
共訳として、ティエリー・ド・デュージュ著「芸術の名において～デュシャン以後のカント/デュシャンによるカント～」(青土社、2001年)など。

林道郎 Michio HAYASHI

1959年生まれ。東京大学卒業。コロロンビア大学人文科学研究所美術史学科博士号。上智大学国際教養学部教授。専門は、美術史、美術批評。
著書として「絵画は二度死ぬ、あるいは死なない」(ARTTRAC 全7冊、2003-2009年)、「死者とともに生きる ボードリヤール『象徴交換と死』を読み直す」(いま読む!名著：現代書館、2015年)、「静かに狂う眼差し 現代美術覚書」(水声社、2017年)
共著として「シュルレアリスム美術を語るために」(鈴木雅雄、水声社：水声文庫、2011年) From Postwar to Postmodern: Art in Japan 1945-1989 (New York: Museum of Modern Art、2012年)、「絵画との契約 山田正亮再考」(松浦寿夫・中林和雄・沢山遼共著、水声社：水声文庫、2016年)など。

藤井博巳 Hiromi FUJII

1933年生まれ。1958年早稲田大学建築学科卒業。1981年～2003年芝浦工業大学建築工学科教授、1987年ハーヴァード大学客員、2003年モスクワ建築アカデミーより名誉博士号授与。芝浦工業大学名誉教授。2010年ジョルジュ・ボンビトゥー国立芸術文化センター(パリ、フランス)に建築のドローイング、模型、スケッチなど計211点が収蔵。サントル地域圏現代芸術振興基金(オルレアン、フランス)に建築のドローイング、模型、スケッチなど計49点が収蔵。

戸田穰 Jo TODA

1976年生まれ。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了。昭和女子大学環境デザイン学部環境デザイン学科専任講師。専門は、フランス近世近代建築史、日本近現代建築史。共編著に「内田祥哉 窓と建築ゼミナール」(内田祥哉著、門脇耕三・藤原徹平・戸田穰編著) 分担執筆に「世界建築史15講」など。翻訳にクロード・バラン「斜めにのびる建築—クロード・バランの建築原理」、ル・コルビュジェ「マルセイユのユニテ・ダビタシオン」(山名善之と共訳)など。